

令和3年度授業改善推進プラン【3年生】

教科	現状の課題	具体的な改善のための方策
国語	<p>△自分が書きたいことを文章で正確に表現したり、文章から物事を理解したりすることが苦手な児童が多い。</p> <p>△すすんで読書をする児童と、ほとんど本を読まない児童との差がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 日常的に辞書の活用を行うことで、語彙力を増やしたり、言葉への関心を高めたりする。 • 図書時間に本の紹介をしたり、ビブリオバトルを取り入れたりして、読書への意欲を高め、活字やささまざまな表現にふれる機会を増やす。
社会	<p>△資料から情報を正しく取り出したり、取り出した情報を比較・関連付けたりすることが難しい。</p> <p>△学習したことを生活に関連付けて生かそうとしたり、自分事として考えたりできる児童が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ICT等を活用して資料の提示の仕方や活用の仕方を工夫し、何を読み取ればいいのか明確にする。ペア活動やグループワークを取り入れ、考え方を広げたり、深めたりする機会を増やす。 • 学習のまとめに、ポスターや新聞を作る活動を行い、自分の考えや、疑問、さらに知りたいことなどを表現させることで、学習したことを活かす場を設ける。
算数	<p>△問題把握をする場面で、問題の意味を理解することに時間がかかる児童がいる。</p> <p>△計算の仕方は分かるが、文章から計算の方法や立式の方法、図に表して説明することが難しい児童が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 具体物の操作やICT機器の活用により問題の場면을提示する。 • 算数学習の基礎となる生活体験、算数体験を意図的に取り入れ、日常生活や他の教科の場で活用できることに気付かせる。 • 友達と自分の考えを比較したり、友達の考え方を活用したりする機会を増やし、問題に対して様々な視点が得られるようにする。
理科	<p>△観察カードに分かったこと等を書けるようになったが、そこから予想したり、考えたりしたことを書くのはまだ難しい。</p> <p>△理科の学習に対して興味をもって取り組んでいるが、さらに主体的に取り組み、思考を深めていこうという児童が少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 観察の視点や、文章へ記述する内容をあらかじめ示し、何を観察するのかを明確にした記録ができるようにしていく。 • 児童が主体的に活動できるよう、目的意識や課題意識をもって、意図的に自然の事物・事象に働き掛ける活動を充実させる。
音楽	<p>△技能面で、リコーダーの運指やタンギングの定着をはかるのに時間がかかる児童がいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 基礎的な奏法や音符のきまりを身に付け、技能の習得のために継続的な取り組みで定着を図るようにする。また、ピックパットを活用し、視覚的にも理解しやすいように工夫する。
図工	<p>△材料からイメージを広げて、自分で考えて表現することに課題がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 造形あそびの題材で、自分から材料から関わり材料に慣れる機会を増やす。 • 材料の工夫の仕方を試す活動から、工夫を友達と共有して材料への理解を深めさせるステップを設けることで、自分で考え工夫できるようにする。
体育	<p>△運動の意味やルールを理解しないまま、取り組む児童が多い。</p> <p>△互いにアドバイスをする経験が少なく、助言をすることが難しい児童が多い。</p> <p>△自分のめあてをもち、自分のめあてを達成するために活動しようという意欲が乏しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 学習の意味やルールを視覚的に理解できるよう、資料やICT機器、映像を活用する。 • ポイントやコツをまとめた資料をカードに掲載し、助言に役立てられるようにする。 • 体育カードを活用して振り返りを行い、次時へのめあてにつなげられるようにする。